

2024年度「S B I R 推進プログラム」(一気通貫型)

公募説明会

(2024年5月13日)

13時30分から開始します。

カメラ「オフ」、マイク「ミュート」にしてしばらくお待ちください。

本日の説明内容に関するご質問は、以下のメールアドレス宛にお問い合わせください。

S B I R 推進プログラム事務局 ; sbir_pfg@nedo.go.jp

- 本資料は『公募要領』に準拠しておりますが、概要を掴んでいただくために、内容を一部簡略化しております。

→ 詳細は『2024年度「SBIR推進プログラム」公募要領』をご覧ください。

- 本資料内で登場する略称文字に関して

p.○-○

⇒ 公募要領の ○～○ ページ

- 本事業は政府予算に基づき実施するため、政府方針の変更等により、公募の内容や採択後の実施計画 等が変更される場合があります。

→ 最新の情報につきましては、本公募のHPをご確認ください。

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100445.html

2024年度「S B I R 推進プログラム」(一気通貫型)

公募説明会

(2024年5月13日)

新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
イノベーション推進部 プラットフォームグループ
S B I R 推進プログラム事務局

本日のアジェンダ

時間	議題	発表者
13:30-13:45	第1部 公募内容全般説明	NEDO事務局
13:45-14:40	第2部 課題の補足説明	経済産業省 木下PM
14:40-14:50	第3部 お問い合わせの多いご質問	NEDO事務局
14:50-15:00	第4部 e-Radへの登録方法	NEDO事務局

本日の説明内容に対するご質問はメールにてお問い合わせください。

sbir_pfg@nedo.go.jp

第1部 公募内容全般説明

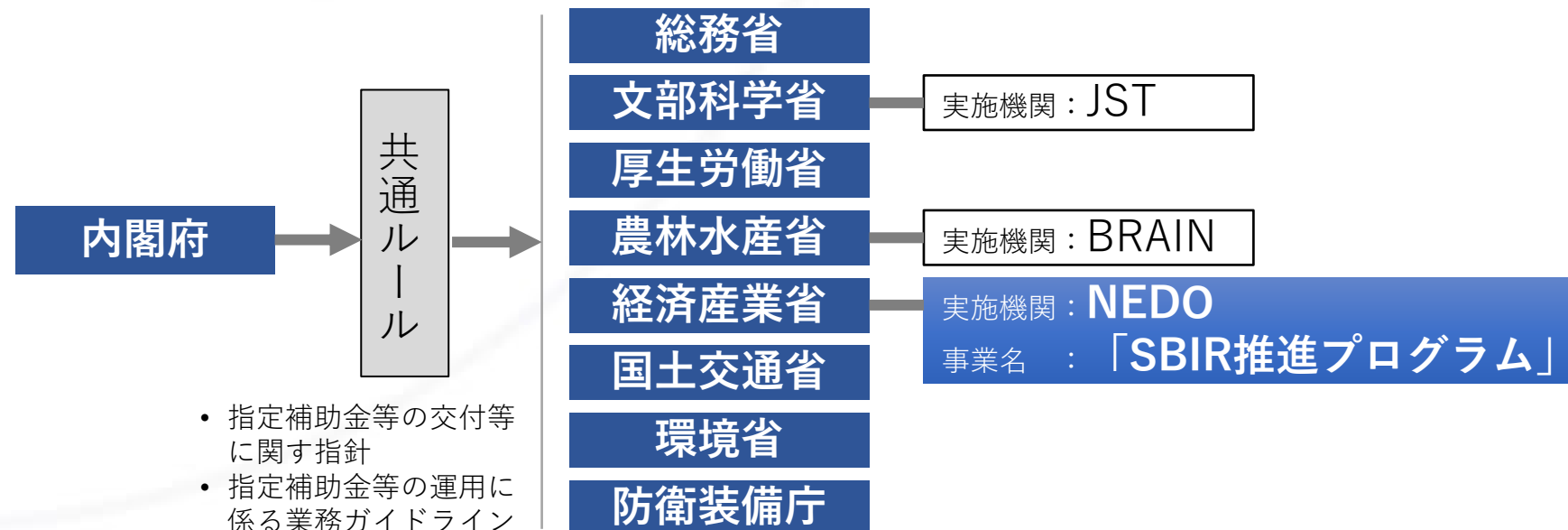
1. 事業の背景と目的
2. 応募方法
3. 助成先の選定
4. その他の留意事項

1. 事業の背景と目的／内閣府による「日本版SBIR制度」

- 科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律の規定によって定められた、指定補助金等の交付等に関する指針に基づき、多様化する社会課題の解決に貢献する研究開発型スタートアップ等の研究開発の促進及び成果の円滑な社会実装を目的として、内閣府が司令塔となって、省庁横断的に実施する「SBIR (Small/Startup Business Innovation Research) 制度」の一翼を担うものである

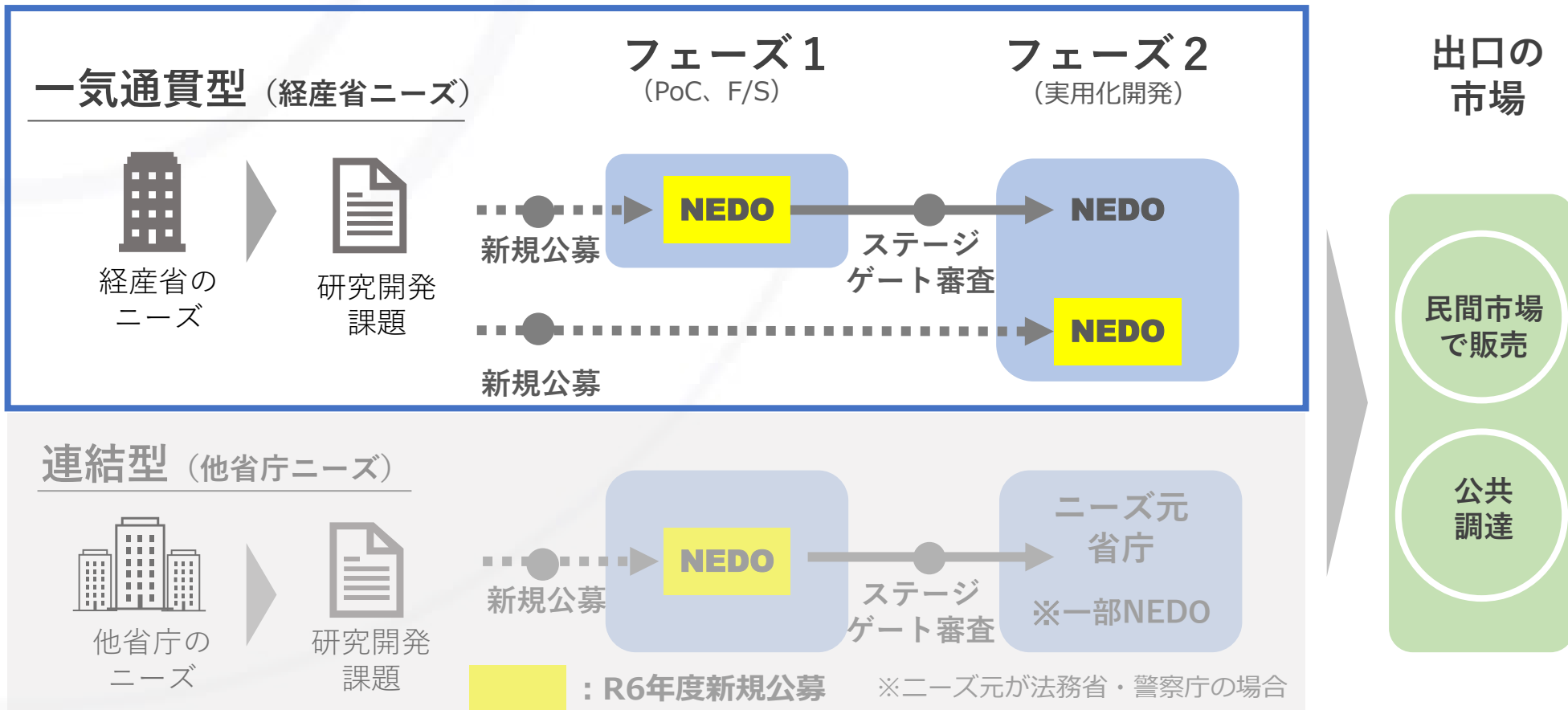
指定補助金等に登録してある9府省庁、及びNEDO事業の位置づけ

- 9府省庁/14事業（R5年度末現在）を指定補助金等として登録
- 共通ルールに基づき、各省庁が連携して指定補助金等を運用することにより、単一の省庁では目が届かない幅広い領域をカバーし、多様な社会課題の解決に資する技術を育成



1. 事業の背景と目的 / NEDOの「S B I R 推進プログラム」の概要

- NEDOによる「S B I R 推進プログラム」では、国の設定する課題（調達ニーズ、社会課題）の解決に資する技術を有する者を公募で募り、革新的な技術の概念実証や実現可能性調査を支援するとともに（フェーズ1）、フェーズ1で得られた成果等を前提として当該者が**実用化に向けて取り組む研究開発を支援する（フェーズ2）**
- また、本事業では、優れた研究開発テーマを継続的に支援することを目的に、ステージゲート審査を活用した段階的な審査方法を導入する



1. 事業の背景と目的 / SBIR推進プログラムの支援内容



支援対象：原則設立 15 年以内の革新的な研究開発を行うスタートアップ等

支援内容：国の設定する研究開発課題について、以下のフェーズ 1 及びフェーズ 2 で、事業化に向けて取り組む研究開発に対して支援

		フェーズ 1	フェーズ 2
一気通貫型 (経産省コース)	公募時期	2024年 5 月	2024年 5 月
	事業期間	1 年以内	2 年以内
	助成率・事業形態 助成金の額	定額助成 2,000万円以内	2/3以内・助成 1 億円以内
連結型 (他省庁コース)	公募時期	2024年 4 月	—
	事業期間	～2024年度末まで	2 年以内 ※
	助成率・事業形態 助成金の額	定額助成 1,500万円以内	2/3以内・助成 5,000万円以内 ※

※コース元が法務省・警察庁の課題で2025年度フェーズ 2 に進んだ場合

1. 事業の背景と目的／応募の要件

- (1) 日本に登記されている中小企業等（法人）であること
- (2) 原則設立15年以内の革新的な研究開発を行うスタートアップ等であること
（ただし、技術の態様や調達ニーズ等に応じて、個別に対応することがあります）
- (3) 助成事業を的確に遂行するに足る技術的能力を有すること
- (4) 助成事業を的確に遂行するために必要な費用のうち、自己負担分の資金調達に関し十分な経理的基礎を有すること
- (5) 助成事業に係る経理その他の事務について、的確な管理体制及び処理能力を有すること。
- (6) 別途定められている「資本金基準」又は「従業員基準」のいずれかの基準を満たす企業であって、みなし大企業に該当しないもの

- 1者もしくは複数者の体制で提案することが可能です。複数者の体制で提案する場合、これを共同提案といいます。
- 国内の学術機関等及び一般財団法人、一般社団法人を共同研究先として実施体制に加えることは可能です。

なお、詳細は 2024年度「SBIR推進プログラム」公募要領 をご参照ください。

1. 事業の背景と目的／事業の内容（求める事業者像など）

	フェーズ1	フェーズ2
応募者像	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる<u>研究開発課題を解決するための明確な構想を持ち、自社の技術シーズを発展させ、事業化に取り組もうとする</u>スタートアップ等 	<ul style="list-style-type: none"> <u>フェーズ1の成果等を前提とした実用化開発を行い、事業化※を実現することにより政策課題を解決しようとする</u>スタートアップ等
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる研究開発課題の解決に資する技術シーズを有するスタートアップ等が、事業化に向けて必要となる基盤研究のための<u>概念実証(POC)及び実現可能性調査(FS)を実施する</u> POC及びFSを通じて<u>有望な事業化計画書(ビジネスモデル、収益計画、VC調達計画等を含む)を練り上げる</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 対象となる研究開発課題の解決に資する技術シーズを有し、<u>POC・FSを完了しているスタートアップ等が、事業化に向けた研究開発を実施する。</u>
ゴール	<ul style="list-style-type: none"> <u>POC及びFSを通じた事業化※に必要な技術的課題が明確となり、かつその一部について明確な進展があること</u> <u>有望な事業化計画書が策定できていること</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 事業化に必要な<u>技術的課題の大部分が解決している</u>、或いは目途が立っていること <u>事業化※に向けた具体的な体制が構築できている</u>、或いは目途が立っていること（フェーズ2終了から5年以内の事業化※を目指す）

※ 本事業において事業化とは、事業終了後に生産・販売等を開始することにより、継続的に売上げが発生することを指します

1. 事業の背景と目的／事業期間中の伴走支援

- 本事業では、採択事業者が抱える様々な課題を解決するため、事業期間中において、技術、知的財産、経営等を専門とするアドバイザー等と連携し、事業化支援を行います。
- また、ニーズ元省庁を交えた進捗報告会を実施します。

伴走支援の内容

(1) ニーズ元省庁を交えた進捗報告会の実施

- 採択事業者から事業内容と研究開発の進捗をご報告いただきます。
- 課題設定元であるニーズ元省庁と意見交換を行い、SBIRの課題の趣旨に沿った研究開発の推進に役立てていただきます。

(2) 外部有識者によるメンタリングの実施

- 採択事業者に対し、必要に応じ、外部有識者によるメンタリングを行います。
- フェーズ1のゴールの一つである「有望な事業化計画書が策定できていること」に向けて、ビジネスプランの構築や事業化計画書の練り直し等の助言・指導を行います。

(3) 採択事業者のニーズに基づいた各種セミナー等の実施

- 採択事業者のニーズ（企業経営、ビジネス戦略、資本政策、知財、海外展開など）に応じたセミナーを実施します。

1. 事業の背景と目的／対象となる研究開発課題

N O.	ニーズ元	フェーズ1 新規公募	フェーズ2 新規公募	タイトル
1	ロボット政策室	—	○	食品製造分野での自動化を実現するロボティクス技術の開発
2	産業構造課	○	○	市町村が被災状況を把握するための技術の開発
3	金属課	○	—	アルミリサイクルプロセスの効率化・高度化に資する技術開発
4	素形材産業室	○	○	高生産性を実現する新方式による金属積層造形技術の開発
5	素形材産業室	○	○	素形材産業の製造現場における目視検査等の自動化技術の開発
6	宇宙産業室	○	○	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
7	医療・福祉 機器産業室	○	○	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発

内容	日程
公募開始	4月30日（火）
公募説明会	5月13日（月）
公募締切	5月31日（金）正午
事前審査（書面審査）	6月中旬～6月下旬（予定）
代表者面談	6月中旬～7月上旬（予定）
事前審査（プレゼンテーション審査）	7月中旬（予定、対象者のみ）
助成先の決定	7月下旬（予定）
採択・不採択通知の発出	8月上旬（予定、対象者のみ）

◀本日

いずれもオンライン開催とし、
対象者には別途ご案内します

- 公募期間中の**お問い合わせにつきましては、原則メールでのみ承ります**。（問合せ期限：5月20日(月)）
会社名、ご所属、お名前、お問い合わせ内容を記載し、以下のメールアドレス宛にお送りください。
e-Mail : sbir_pfg@nedo.go.jp
- 回答した内容は、「**公募質問集（FAQ）**」として**公募ページで随時更新**しますのでご参照ください。
- なお、提案いただくテーマが**研究開発課題に合致しているかどうかについて、事務局ではお答えできません**。公募要領「別紙；SBIR推進プログラム公募 一気通貫型 研究開発課題詳細」に記載されている政策課題、研究開発内容等により提案者様ご自身でご判断ください。

2. 応募方法／応募書類の作成

p.16



以下の資料をNEDOホームページからダウンロードして下さい <https://www.nedo.go.jp/>...

提出書類名	提出形式		
1. 提案書 <研究開発に関する情報>		} NEDOホームページからダウンロード	
1-1. ★提案書（様式第1）	Word		
1-2. 助成事業実施計画書	Power Point		
2. 添付資料① <研究者に関する情報>		} NEDOホームページからダウンロード	
2-1. e-Rad 応募内容提案書（※）	PDF		e-Radページからダウンロード
2-2. ★主任研究者研究経歴書	PDF		
2-3. ★その他の研究費の応募・受入状況	PDF		
2-4. 利害関係の確認について	PDF		
3. 添付資料② <会社に関する情報>		} NEDOホームページからダウンロード	
3-1. ★直近3年分の決算報告書	PDF		提案者書式にて提出
3-2. ★全部事項証明書	PDF		原本をPDF化して提出
3-3. ★財務項目ファイル（資金調達に関する情報）	Excel		
3-4. ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況	PDF		
3-5. 事業開始年度の賃金を引き上げる旨の表明資料（任意）	PDF		
4. その他		} NEDOホームページからダウンロード	
4-1. 提案者用チェックリスト	Excel		

全てのファイルをひとつのzipファイルにまとめてアップロードしてください

※ 共同提案者もe-Radへの登録は必要となります。 ★は共同提案者も提出してください。

2. 応募方法／提出先及び提出方法（応募受付フォーム）

公募の応募受付フォームから、必要情報の入力と提出書類のアップロードを行ってください。

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/nu6silcqxtr>

（1）入力画面

①～⑫の必要事項を入力し、⑬で提出書類を選択、「登録」ボタンを押下して確認画面へ

2024年度「SBIR推進プログラム」（連結型）公募 応募受付フォーム

必要情報の入力及び提出書類等のアップロードを行ってください。なお、他の方法（持参、郵送、FAX・メール等）による応募は受け付けません。

⑬ 提出書類 (10/0)

「6. 提出書類および提出期限と提出方法（4）提案に必要な書類等の作成」に記載の資料をアップロードしてください。<最大100MB>

登録 閉じる

（2）確認画面

確認画面の内容を確認したうえで、「送信」ボタンを押下してください

2024年度「SBIR推進プログラム」（連結型）公募 応募受付フォーム

この画面ではまだ回答は完了していません。（送信ボタンへ移動）

必要情報の入力及び提出書類等のアップロードを行ってください。なお、他の方法（持参、郵送、FAX・メール等）による応募は受け付けません。

● 利害関係者（必須）
【該当なしの場合は「なし」を選択、該当ありの場合、該当委員名を記載してください】
なし

送信 前画面に戻る

（3）受付完了画面

アップロードが完了後、受付完了画面が表示される

2024年度「SBIR推進プログラム」（連結型）公募 応募受付フォーム

ご提案いただきありがとうございます。
提案書類等のアップロードが完了しました。
以下の受付番号はお問い合わせの際などに必要になりますので、メモをお控ください。

公募名称：2024年度「SBIR推進プログラム」（連結型）公募 応募受付フォーム
受付番号：20240405-094836-1-1-11111-fixed_string-this-is-dummy-code

（4）NEDOから自動配信メール

応募者にNEDOから自動配信メールが届く

本メールは、下記の提案書類等をご提出いただいた方へご案内するものです。

提案書類等を確認した後、代表法人連絡担当者Eメールアドレス宛てに、受理完了メールを別途お送りします。NEDO担当者からの連絡をお待ちください。

記

公募名称：2024年度「SBIR推進プログラム」（連結型）公募 応募受付フォーム
受付番号：20240405-095100-1-1-11111-fixed_string-this-is-dummy-code
受付日時：2024年04月05日 09:51

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構



2. 応募方法／「提案書（様式第1）」の作成

(様式第1) ←

右記の番号は、貴社の社内文書番号がある場合のみ記入してください ← 番 号
提出日を記載してください ← 年 月 日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 ←
理事長 殿 ←

←

・提案者は法人格を有することが必要です。 提案者 〒 住 所 ←
・代表者は会社の代表権のある方とします（押印不要）。 名 称 ←
・共同提案の場合、提案者毎に作成してください。 代表者役職・氏名 ←

←

e-Radの研究機関コード(10桁) ←

2024年度「S B I R 推進プログラム」(一気通貫型) フェーズ○ 提案書 ←

←

記 ←

1. 研究開発課題番号 ←
・<番号>は、公募要領の3. 応募の要件(2)対象となる研究開発課題に掲げる研究開発課題一覧表の中から、提案する番号を選択し、記載してください。 ←

←

2. 助成事業の名称 ←
・事業内容が分かる短く簡潔な名称とし、40字以内で記入してください。 ←
・対外的に公表して問題ない内容としてください。 ←
・「」はつけないでください。 ←

←

3. 助成事業の概要 ←
・提案する事業内容を、200字～250字以内厳守で要領よく記入してください。 ←
・対外的に公表して問題ない内容としてください。 ←

←

4. 助成事業の総費用 .000円 (.000円) ←
・共同提案の場合は、共同提案合計費用と提案者の費用に分けて記載してください(括弧内に本提案者の費用を記載してください)。単独の提案の場合は、同じ費用を記載してください。 ←
・千円単位で増数切り捨ての金額を記載してください。 ←
・本様式を含み、提案書に記入の費用は全て消費税抜きにて記入してください。 ←

←

5. 助成金交付申請額 .000円 (.000円) ←
・共同提案の場合は、共同提案合計費用と提案者の費用に分けて記載してください(括弧内に本提案者の申請額を記載してください)。単独の提案の場合は同じ費用を記載してください。 ←
・千円単位で増数切り捨ての金額を記載してください。 ←
・助成金交付申請額は、フェーズ1の1テーマあたり2,000万円以内、フェーズ2の1テーマあたり1

提案書作成にあたって

1. 提案書は、添付書類を含め、全て日本語で記載してください。
2. 提案書の項目を勝手に削除しないでください（ただし、本ページ及び次ページ以降、青字で記入されている提案書の注意事項及び記載例は、削除してください）。
3. 特に注意がない場合は、項目間の行間は、適宜変更してください。
4. 記入に際しては、簡潔明瞭を旨とし、提案書のボリュームが大きくなりやすいよう配慮してください。
5. 提案書の作成にあたり記入上の注意（青字）をよく読んでください。また、各項目の記載上のポイントにはアンダーラインを付けてありますので、これに沿って提案書を作成してください。
6. 提案書へは必ずページ番号を通して記入してください。
7. 提案書の作成にあたり、公募要領を必ず確認してください。提案書の記載内容について注意事項があります。
8. 共同提案の場合は、提案者ごとに本提案書を作成してください。

その他、記入上の不明点については、問い合わせ窓口宛にメールでお問い合わせください。

2. 応募方法／「助成事業実施計画書」の作成

2024年度S B I R推進プログラム（一気通貫型 フェーズ●）
助成事業実施計画書

<注意事項>
 ・本資料に記載している項目に必要な情報を入力し、「助成事業実施計画書」を作成してください。
 ・フォーマットはあくまで例示であり、資料の体裁・分量を変えることは自由ですが、各ページの記載ガイド（青字）について十分な言及がない場合は、審査において十分に評価されない可能性があります。なお、事実・データ等の記載は、その出典を明記してください。
 ・審査委員に公開したくない情報は、本提案書には記載しないでください。ただし、審査委員の判断材料が不足する場合は審査結果に影響する場合がありますのでご注意ください。
 ・必要に応じて、参考資料（自由様式）を挿入してください。
 ・応募にあたっては、公募要領及び交付規程をご覧ください。審査の結果、採択され、事業を実施するには、これらの内容に同意いただくことが必要です。
 ・プレゼンテーション資料に「アニメーション」、「動画」を使用することはできません。
 ・提出書類一式の容量は最大100MB以内とさせていただきます。

研究開発課題番号：○
 提案テーマ名：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
 提案者名：株式会社●●●●●

製品・サービス
イメージ等

【事業の実施計画】

1. 事業の概要 | 事業の全体像、研究開発課題との関係性（課題解決にどのように貢献できるか）

I. 事業の全体像
 ・開発等が必要な背景、開発内容や目標、目標達成により解決される課題等の全体像を簡潔に記載してください。
 ・必要に応じて、図表（写真、透視図、ビジネスプラン等）も用いて表現してください。

II. 研究開発課題（トピック）との関連性
 ・今回提案する事業が、トピックに記載された政策課題等の解決に対し将来的にどのように貢献するか記載してください。
 ・提案内容には課題解決のためにどのような概念実証(POC)・実現可能性調査(FS)の証明が必要なのについても簡潔に記載してください。

- <注意事項>
1. 本資料に記載している項目に必要な情報を入力し、「助成事業実施計画書」を作成してください。
 2. フォーマットはあくまで例示であり、資料の体裁・分量を変えることは自由ですが、各ページの記載ガイド（青字）について十分な言及がない場合は、審査において十分に評価されない可能性があります。なお、事実・データ等の記載は、その出典を明記してください。
 3. 審査委員に公開したくない情報は、本提案書には記載しないでください。ただし、審査委員の判断材料が不足する場合は審査結果に影響する場合がありますのでご注意ください。
 4. 必要に応じて、参考資料（自由様式）を挿入してください。
 5. 応募にあたっては、公募要領及び交付規程をご覧ください。審査の結果、採択され、事業を実施するには、これらの内容に同意いただくことが必要です。
 6. 特許出願の非公開に関する制度の留意点 について
 助成事業者は、「経済施策を一体的に講ずることによる安全保障の確保の推進に関する法律」（以下、「経済安全保障推進法」という）に基づく特許出願の非公開制度（令和6年5月1日施行）において出願人又は発明共有事業者としての義務を遵守することが求められます。（公募要領P37（18）参照）

その他、記入上の不明点については、「助成事業実施計画書（作成要領）」をご確認下さい。作成要領で確認できなかった内容については、問い合わせ窓口宛にメールでお問い合わせください。

(添付資料①) ←

その他の研究費の応募・受入状況 ←

(提出様式) ←

研究者名: ●●●●※法人毎に提出 ←

「〇〇大学〇〇 〇〇(研究者名)」は、以下に示す研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき適切に所属機関に報告していること、誓約いたします。 ←

●研究費 ←

相手機関名 (国名) ←	制度名/研究課題名 ←	受給/契約 状況 ←	研究 期間 ←	予算額(受入研究費額) ←	エフォート (%) ←
〇〇財団 (日本) ←	××事業/△△の開 発 ←	申請 ←	2021.4 — 2025.3 ←	000,000 千円 ←	10 ←
××株式会社 (アメリカ合衆国) ←	■ ■の要素技術開 発 ←	契約中 ←	2018.4 — 2023.3 ←	000,000 千円 ←	20 ←
— ←	— ←	— ←	— ←	— ←	15 ←

●所属機関・役職(兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。) ←

所属機関名 ←	役職 ←
〇×研究所 ←	主任研究員 ←
〇〇大学 ←	名誉教授 ←
××株式会社 ←	顧問 ←

その他の研究費

研究代表者・研究分担者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の公的資金を除くその他の研究費の状況を記入してください。ただし、既に締結済の秘密保持契約等の内容に基づき提出が困難な場合など、やむを得ない事情により提出が難しい場合は、エフォートのみ提出でも可能です。この場合においても必要に応じて所属機関に照会を行うことがあります。

その他の研究費の範囲

競争的研究費の適正な執行に関する指針において「所属する機関内において配分されるような基盤的経費又は内部資金、商法で定める商行為及び直接又は間接金融による資金調達を除く」とされています。

民間企業については、会社法第5条において、会社がその事業としてする行為及びその事業のためにする行為は商行為であるとする、と規定されています。従って、民間企業同士の共同研究や受託開発などは商行為に該当し、指針における「その他研究費」には含まれません。

また、民間企業が社債・株式を発行して、証券市場を通じて調達した資金や、銀行などの金融機関からの借り入れで調達した資金も、「その他研究費」には含まれません。

その他、記入上の不明点については、「2-3.その他の研究費の応募・受入状況」をご確認下さい。作成要領で確認できなかった内容については、問い合わせ窓口宛にメールでお問い合わせください。

2. 応募方法／「提案者用チェックリスト」の作成

p.17-18



提出書類チェックリスト（2024年度S B I R推進プログラム一気通貫型）						
提案者名		提案者記入欄	NEDO記入欄 1	NEDO記入欄 2	修正内容	再提出期日
研究開発課題番号		確認日;	確認日;	確認日;		
提案テーマ		確認者;	確認者;	確認者;		
提出物	チェック項目	チェック内容	チェック欄	チェック欄	チェック欄	
1-1. フェーズ1 提案書 (様式第1)	書類の有無、書式の確認	・提案書はすべての項目が記載されていますか。 ・ページ番号が記載されていますか。 ・青字・イタリック体で記入されている提案書の注意事項及び記載例は全て削除されていますか。				
	* 様式	・2024年度「S B I R推進プログラム」フェーズ1または2となっていますか（2024年度の様式を使用していますか）。				
	* 日付	提案書1ページ目右上の提出日は、2024年4月30日から2024年5月31日の間の日付けとなっていますか。				
	* 共同提案の有無	共同提案の場合、右セルのチェック欄より「共同提案」を選択してください。単独提案の場合、右セルのチェック欄より「単独提案」を選択してください。				
	* 提案者	代表者の役職は全部事項証明書の「役職に関する事項」に記載の役職名と一致していますか。				
	* 共同提案	共同提案の場合、全提案者分の提案書（様式第1）がありますか。				
	1. 研究開発課題番号	研究開発課題番号は1～7のいずれかが記載されていますか。				
	5. 助成金交付申請額	・助成金交付申請額の合計がフェーズ1の場合2,000万円以内、フェーズ2の場合1億円以内となっていますか。 ・8. 助成事業期間における資金計画のIV. 助成金交付申請額に記載されているIV. 助成金交付申請額と合っていますか。				
7. 助成事業の開始及び終了予定年月日	終了予定年月日は、交付決定通知（2024年8月末頃を予定）よりフェーズ1の場合1年以内、フェーズ2の場合2年以内となっていますか。					

提案書類チェックリスト 記入にあたって

1. 提案者名には法人名称をご記入してください。
2. 研究開発課題番号には1～7の番号をご記入してください。
3. 提案テーマには事業の名称をご記入してください。
4. 提出物のチェック項目、チェック内容を確認し 提案者記入欄の全てのチェック欄に「**✓**確認済」または「**✓**該当無し」を入力してください。
5. 全てのチェック欄の入力を確認し、確認日と確認者をご記入してください。

※チェックリストはExcelシートに記入し、Excelファイルのままでご提出してください。

その他、記入上の不明点については、問い合わせ窓口宛にメールでお問い合わせください。

3. 助成先の選定／審査の方法について（選考の流れ）

- 提出された提案書をもとに、外部有識者による事前書面審査、採択審査委員会（プレゼンテーション審査）を行い提案書の内容について審査し、本事業の目的の達成に有効と認められる助成事業者候補を選定します。
- 事前審査の一環として、財務状況等のヒアリングや資料の追加等を依頼することがあります。
- また、採択審査委員会開催の日時およびプレゼンテーションに関する内容等については、対象となる提案者の「連絡責任者」に NEDO から連絡致します。

内 容	日 程
公募開始	4月30日（火）
公募説明会	5月13日（月）
公募締切	5月31日（金）正午
事前審査（書面審査）	6月中旬～6月下旬（予定）
代表者面談	6月中旬～7月上旬（予定）
事前審査（プレゼンテーション審査）	7月中旬（予定、対象者のみ）
助成先の決定	7月下旬（予定）
採択・不採択通知の発出	8月上旬（予定、対象者のみ）

◀本日

対象者あてメールでご案内します
いずれもオンライン開催とします

※助成事業者の選定は非公開で行われ、審査の経過等、審査に関する問い合わせには、一切応じることができません

3. 助成先の選定／審査基準

事前審査（書面審査、プレゼン審査）

以下の観点から、事前審査を行います。

① 要件審査

- 政策課題との適合性、研究開発のフェーズの妥当性、事業実施体制の妥当性、経済的基礎の妥当性等の観点から要件面を審査します。

② 技術審査

- 技術優位性及び新規性、研究開発体制、開発目標の適切性、費用計上の適切性等の観点から課題解決の基となる技術面を審査します。

③ 事業化審査

- 事業化に向けた課題の妥当性、開発製品の市場適合度、研究計画(課題・解決手段)の妥当性、事業化に向けた資金計画の妥当性等の観点から事業化面を審査します。

④ その他

- ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況に応じて加点します。
（提出書類 3-4.「ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況」）
- 賃上げを実施することを表明した企業に対して加点します。
（提出書類 3-5.「事業開始年度の賃金を引き上げる旨の表明 資料（任意）」）

3. 助成先の選定／審査基準

助成先の決定（契約・助成審査委員会等）

以下の基準により、助成先を最終決定します。

- ① **事前審査の結果を踏まえ、提案の内容が次の各号に適合していること。**
 - ア. 助成事業の目標が、NEDOの意図と合致していること。
 - イ. 助成事業の方法、内容等が優れていること。
 - ウ. 助成事業の経済性が優れていること。

- ② **本事業における助成事業者の遂行能力が、以下の各号に適合していること。**
 - ア. 助成事業を行う人員、体制が整備されている、又は、整備される予定があること。（NEDOからの要請に適切に対応できることを含む。）
 - イ. 助成事業に必要な設備が整備されている、又は、整備される予定があること。
 - ウ. 経営基盤が確立されていること。
 - エ. 関連分野の開発等に関する実績を有していること、又は、実績のある学術機関等の共同研究先や協力企業等からの協力が得られること。
 - オ. 助成事業の実施に関して、機構の必要とする措置を適切に遂行できる体制を有していること。

4. その他の留意事項 / e-Radへの登録

本事業への提案は、

- 府省共通研究開発管理システム（e-Rad）の申請
- NEDOへの提案書類の提出（Web「応募受付フォーム」による登録）

の両方が必要です。

e-Radシステムの使用にあたっては、事前に研究機関及び研究者の登録が必要です。
事前登録には2週間以上時間を要する場合がありますので、早めに登録をお願いします。

e-Radによる申請及びWeb入力フォームによる登録手続きを行わないと本事業への提案ができませんので、充分留意してください。

本事業における重複応募の排除

- ① 同一のテーマで、複数フェーズへ同時に提案することはできません。また、同一提案者が複数のテーマで提案をすることは可能ですが、その提案における成果物が、同一の研究開発課題を解決する他の提案と組み合わせられて最終成果物となる場合、総合的に判断し、提案を受理しないか、もしくは提案内容の変更をお願いする場合があります。
- ② 採択に至った場合でも助成金の交付額は、審査の結果及び予算の制約等により提案額から減額することがあります。

「不合理な重複」及び「過度な集中」の排除

- 本事業では、「不合理な重複」、又は「過度の集中」が認められる場合には、採択を行わないことがあります。また、それらが採択後に判明した場合には、採択取り消し又は減額することがあります。

「不合理な重複」とは

- 実質的に同一（相当程度重なる場合を含む）の研究課題について、複数の競争的研究費その他の研究費に対して同時に応募があり、重複して採択された場合
- 既に採択され、配分済の競争的研究費その他の研究費と実質的に同一の研究課題について、重ねて応募があった場合
- 複数の研究課題の間で、研究費の用途について重複がある場合
- その他これらに準ずる場合

第2部 課題の補足説明

第2部 課題の補足説明

No.	ニーズ元	フェーズ1 新規公募	フェーズ2 新規公募	タイトル
1	ロボット政策室	—	○	食品製造分野での自動化を実現するロボティクス技術の開発
2	産業構造課	○	○	市町村が被災状況を把握するための技術の開発
3	金属課	○	—	アルミリサイクルプロセスの効率化・高度化に資する技術開発
4	素形材産業室	○	○	高生産性を実現する新方式による金属積層造形技術の開発
5	素形材産業室	○	○	素形材産業の製造現場における目視検査等の自動化技術の開発
6	宇宙産業室	○	○	民間宇宙活動で推進する産業発展及び国際競争力強化に資する技術開発
7	医療・福祉機器 産業室	○	○	高齢者の自立支援や介護者の負担軽減等に資する福祉機器の開発

第3部 お問い合わせの多いご質問

- 「公募質問集（FAQ）」より抜粋

お問い合わせの多いご質問

FAQのご紹介

- 本説明会では、「公募質問集（FAQ）」より、お問い合わせの多いご質問を抜粋してご紹介します。
- 公募期間中に頂戴したご質問については、都度、「公募質問集（FAQ）」を更新のうえ本公募ページにて公開しますので、適宜、ご参照ください。
- 本事業の内容に関するお問い合わせは、[2024年5月20日\(月\)まで](#)、以下の問い合わせ先より原則、E-mailでのみ受け付けます。

公募ページ : https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100458.html

問い合わせ先 : sbir_pfg@nedo.go.jp

第4部 e-Radへの登録方法

第4部 e-Radへの登録方法



e-Rad（府省共通研究開発管理システム）とは

研究開発経費の適切な配分のためのオンライン研究開発管理システム

<https://www.e-rad.go.jp/>

府省共通研究開発システム（e-Rad）は、各府省等が所管する競争的研究費制度を中心とした公募型の研究資金制度について、研究開発管理に係る手続きをオンライン化し、応募受付から実績報告等の一連の業務を支援するとともに、研究者への研究開発経費の不合理な重複や過度の集中を回避することを目的とした、府省横断的なシステムです。

e-Radは、公募型の研究資金制度を所管する関係9府省により運営しており、各府省の協力の下、内閣府がシステムの開発及び運用を行っています。

**NEDOでは、e-Rad上での研究開発課題の登録と、
NEDOシステムによる提案書等の提出をお願いしております。**



公募への応募におけるe-Rad手続きの流れ

公募要領を確認

★基本的な操作方法はe-Radホームページの操作マニュアル・応募編をご参照ください。

https://www.e-rad.go.jp/manual/for_researcher.html



提案者の
e-Radアカウントの取得

注意点①：e-Rad上での研究者アカウントの新規登録



e-Rad上で公募へ応募

注意点②：提案額（委託）、又は交付申請額（助成）の入力
注意点③：研究代表者、研究分担者の登録



e-Radで登録した応募内容提案書を添付し、NEDOに提出

※ e-Rad 応募情報入力時の画面下部
「応募内容提案書のプレビュー」からPDFファイルをダウンロードしてください。



※ 公募締切後の課題の変更・修正については、担当者にご相談ください。
内容を確認後、e-Rad配分機関（NEDO）より、修正依頼を送信いたします。

注意点① e-Rad上での研究者アカウントの新規登録について

■ 参照箇所

e-Rad ホームページ：<https://www.e-rad.go.jp/index.html>

ホームの上方メニューから

「登録・手続き」 > 「研究機関向け」、もしくは「研究者向け」 > 「新規登録の方法」

※なお、本登録に係るお問い合わせはヘルプデスク（内閣府が設置）までお願いいたします。

登録済の研究機関に所属している場合

所属研究機関において研究者登録が可能ですので、所属機関のe-Rad事務担当にアカウント発行を依頼してください。

研究機関が未登録の場合

研究機関の登録から始める必要があります。

研究機関の新規登録申請を行うよう、所属機関の事務担当に依頼してください。

研究機関に所属していない場合

e-Radに用意してある様式から、ご自身で研究者の登録申請を行ってください。

※最大で2週間程度かかる場合があります。余裕をもって申請してください。

第4部 e-Radへの登録方法



注意点② 提案額（委託）、又は交付申請額（助成）の入力について

- ・「研究経費」には応募時点での提案額、又は交付申請額を入力してください。
- ・提案書を基に直接経費・間接経費の項目に入力してください。
- もし配分が困難な場合には、全額を直接経費の欄に入力ください。
- （※）直接経費の細分項目が設定されている場合には一番の上の項目に入力してください。

基本情報 研究経費・研究組織 応募・受入状況

研究経費

年度ごとの経費の登録を行います。
「1.費目ごとの上下限」を確認しながら、「2.年度別経費内訳」を入力してください。

1.費目ごとの上限と下限

	上限	下限
直接経費、間接経費、再委託費・共同実施費の合計	(設定なし)	1,000 円
間接経費	(設定なし)	-
再委託費・共同実施費	(設定なし)	(設定なし)

2.年度別経費内訳

大項目	中項目	2022年度	2023年度	合計
直接経費	直接経費	- 必須		0 円
	小計			0 円
間接経費	間接経費	必須		0,000 円
再委託費・共同実施費	再委託費	必須		0,000 円
	合計			0 円

注意点③ 研究代表者、研究分担者の登録について

- NEDOでは、**研究代表者の欄に提案者**、**研究分担者の欄に共同提案者**や、**共同研究先の登録**をお願いしています
- 原則、1つの研究機関に対して研究者1名登録してください（なお2名以上登録する必要がある場合、この限りではありません）
 - (※) 基本的な方針として研究者の登録を推奨しておりますが、状況に応じて事務担当者のアカウントでの登録も可能ですので、ご相談ください。
 - (※) 「技術研究組合」は、技術研究組合名義の代表者1名を登録してください。

経費の入力

「研究経費」の欄で入力した金額と、各研究者の研究経費欄の合計金額が一致する必要があるため、前項の金額を参照の上、入力してください。

エフォートの入力

e-Radにおける他の応募・もしくは既に実施している課題との兼ね合いで、ご自身で管理されているエフォート合計値が100を超えない値を入力してください。

(※) 100を超えた場合、他の応募登録の際にエラーメッセージが表示される可能性があります。

研究代表者の欄 →

研究分担者の欄 →

金額を配分して記載することが困難な場合には、代表者に全額入力も可

(※) なお、採択後にNEDO側で確定金額を入力します。

研究組織

1.申請額（初年度）の入力状況

「1.申請額（初年度）の入力状況」を確認しながら、「2.研究組織情報の登録」の各費目を入力してください。
ここで入力した各費目の金額の計は、上記の「研究経費」の「2.年度別経費内訳」で入力した各費目の初年度のコピーと一致するように入力してください。

	初年度の申請額	研究者ごとの金額合計	差額
直接経費、間接経費、再委託費・共同実施費の合計	0円	0円	0円
間接経費	0円	0円	0円
再委託費・共同実施費	0円	0円	0円

2.研究組織情報の登録

課題に参加するメンバーと、研究メンバーごとの研究経費初年度を入力してください。研究経費は、上の表の「研究者ごとの金額合計」に反映されます。

行の追加 選択行の削除

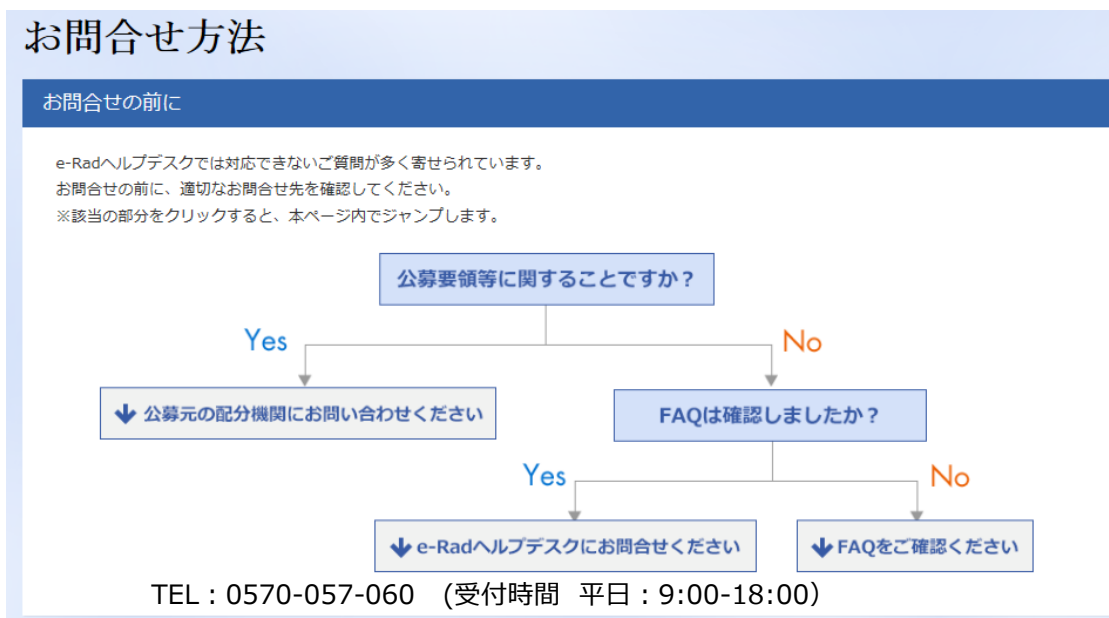
研究者を検索	研究者番号 生年月日 氏名（年齢）	研究機関 部局 職/職階 <small>必須</small>	専門分野 学位・取得年月日・大学 役割分担 <small>必須</small>	直接経費 間接経費 再委託費・共同実施費 <small>必須</small>	エフォート (%) <small>必須</small>	閲覧・編集権限	削除	移動
	代表者 XXXXXXXX YYYY/MM/DD 〇〇 〇〇〇 (XX歳) (△△△△ △△△△)	〇〇機関 〇〇部局 〇〇長/〇〇クラス	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇学位・ YYYY/MM/ DD・〇〇 大学	直接経費 ,000円 間接経費 ,000円 再委託費・ 共同実施費 ,000円				
	XXXXXXXX YYYY/MM/DD 〇〇 〇〇〇 (XX歳) (△△△△ △△△△)	〇〇機関 〇〇部局 〇〇長/〇〇クラス	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇学位・ YYYY/MM/ DD・〇〇 大学	直接経費 ,000円 間接経費 ,000円 再委託費・ 共同実施費 ,000円		無し		

行の追加 ← 研究者の追加・削除 → 選択行の削除

【参考】問い合わせ先

1. e-Radの操作に関する質問は下記を参照のこと

- ・ 研究者用操作マニュアル：https://www.e-rad.go.jp/manual/for_researcher.html
- ・ 所属研究機関のe-Rad担当窓口
- ・ e-Radヘルプデスク



ヘルプデスクへの連絡に際し、

- ・ e-Radにログインし、操作マニュアルを開いた状態での連絡だと対応がスムーズとなります。
- ・ 公募の締切日直前等は電話回線が混雑する場合があります。

詳しくはコチラ <https://www.e-rad.go.jp/contact.html>

2. 上記で解決しない場合にはNEDO公募担当者へ

連絡の際には、公募名、研究者氏名、研究者番号、エラーメッセージのスクリーンショット等をご準備の上ご連絡ください。



■■問い合わせ先

本事業の内容に関するお問い合わせは、2024年5月20日(月)までに限り、以下の問い合わせ先より原則、E-mailでのみ受け付けます。電話対応をご希望の場合、会社名、お名前、電話番号、問い合わせ内容を記載の上、E-mailにてご連絡ください。事務局より折り返しお電話致します。

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
イノベーション推進部 プラットフォームグループ
S B I R 推進プログラム事務局
E-mail : sbir_pfg@nedo.go.jp